

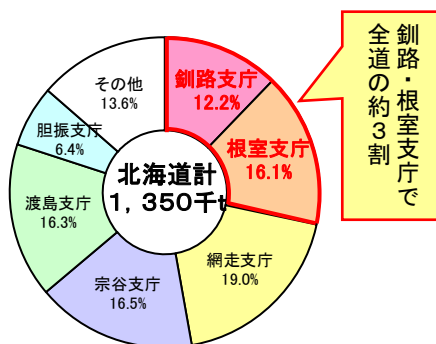
＜水産品の流通を支える道路整備＞

釧路・根室地域の漁獲量は、全道の約3割を占め、羅臼町や標津町等では鮭、ほたて貝、すけとうだらなど多様な魚種の水揚げがされています。

羅臼町、標津町、別海町で漁獲された鮭は道内の鮭漁獲量の約23%のシェアを誇っており、それらの水産品は、年間を通じて当該路線を經由し道外または釧路市内の水産加工場へ出荷されています。

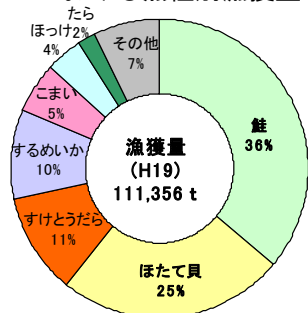
釧路中標津道路（一般国道272号）の整備により、これらの水産品の流通の利便性向上が期待されます。

■北海道の漁獲量



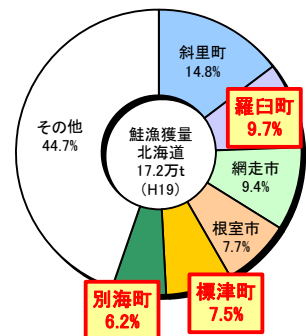
資料：北海道水産現勢 (H19)

■羅臼町・標津町・別海町における魚種別漁獲量



資料：北海道水産現勢 (H19)

■鮭の漁獲量



資料：北海道水産現勢 (H19)

■水産品の輸送状況



- ・ 阿歴内道路の整備による冬の輸送安全性の向上はもとより、地域高規格道路の全線整備で輸送時間短縮されることにより鮮度の高い魚を出荷できるようになることが期待されます。【羅臼町鮮魚買受人組合】
- ・ 加工原料となる魚を根室・網走のオホーツク海沿岸から集めているため、地域高規格道路の整備により時間が短縮された場合には、鮮度が向上するだけでなく時間短縮分を加工時間に振り替えることが可能となります。【水産加工事業所】